

# 日々の祈り

2022年2月21日(月)~26日(土)

宮崎中部教会



## <はじめに>

それぞれの日々の生活の中で、神さまに心を向け、御言葉を聞き、祈りをもって過ごしましょう。教会のために、兄弟姉妹のために、隣人のために、祈りを合わせましょう。

## <使い方>

毎日の御言葉を、可能であれば声に出して、二回以上読んでみましょう。御言葉をじっくりと味わい、聖霊に導かれるまに、祈りの時をもちましょう。

## <今週の祈りの課題>

- ・宮崎中部教会が神さまに喜ばれる群れであるように。
- ・コロナ禍にあって苦しみを負っている人々、悲しみの中にある人々、与えられた務めを果たそうとしている人々のために。
- ・世界の為政者のために。国々が神さまの御心に従って歩むことが出来るように。

## 21日(月)

ルカによる福音書 21章9節

戦争とか暴動のことを聞いても、おびえてはならない。こういうことがまず起こるに決まっているが、世の終わりはすぐには来ないからである。

昨日の御言葉を思い巡らしましょう。わたしたちは見えるものに心を動かされ、見えるものを信頼し、見えるものを恐れます。しかし本当は、見えない神のご支配をこそ、見つめなければなりません。神さまこそ、天と地のまことの支配者であり、真実なお方なのです。神さまが守り、導き、そして完成させて下さる、そのまことの現実にこそ、わたしたちの希望があるのです。イエスさまは、わたしたちが神さまをこそ見つめて、心を高く上げるようにと教えて下さいます。

## 22(火)

詩編 16編 7~9節

わたしは主をたたえます。主はわたしの思いを励まし／わたしの心を夜ごと諭してください。わたしは絶えず主に相對しています。主は右にいまし／わたしは揺らぐことはありません。わたしの心は喜び、魂は躍ります。からだは安心して憩います。

わたしたちは、主の励ましと諭しがなければ、絶えず主に相對していることを忘れてしまいます。絶えず主の慈しみの眼差しの中に置かれていることを、見失ってしまうのです。しかし、主を見つめているならば、わたしたちは揺らぐことはありません。心は喜び、魂は踊ります。からだは安心して憩います。主のもとにあるならば。御言葉と祈りによって、主がわたしたちの思いを励まし、心を夜ごと諭して下さいように。

23日(水)

イザヤ書 43 章 1 節

ヤコブよ、あなたを創造された主は／イスラエルよ、あなたを造られた主は／今、こう言われる。恐れるな、わたしはあなたを贖う。あなたはわたしのもの。わたしはあなたの名を呼ぶ。

わたしたちを造られた主が、宣言されるのです。わたしたちを贖って下さると。わたしたちは主のものであると。主がわたしたちの名を呼んで下さると。だから、「恐れるな」と言われます。わたしたちは、すべての造り主、わたしの命の支配者、全能なる神さまのものなのです。誰も、何も、このお方からわたしたちを奪い取ることは出来ません。

24日(木)

ヘブライ人への手紙 / 04 章 14 節

さて、わたしたちには、もろもろの天を通過された偉大な大祭司、神の子イエスが与えられているのですから、わたしたちの公に言い表している信仰をしっかりと保とうではありませんか。この大祭司は、わたしたちの弱さに同情できない方ではなく、罪を犯されなかったが、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われたのです。

イエスさまは、神の御子であられるのに、あらゆる点において、わたしたちと同様に試練に遭われました。イエスさまがご存じない、わたしたちの苦しみ、悲しみ、痛み、恐れはありません。そしてこの方は、わたしたちの大祭司となられ、わたしたちの罪の贖いを成し遂げ、神さまとの間に和解を与えて下さったお方です。この方が、わたしたちに与えられている。だから、この恵みに、信仰に、ただ立ちたいのです。

25日(金)

詩編 42 編 12 節

なぜうなだれるのか、わたしの魂よ／なぜ呻くのか。神を待ち望め。わたしはなお、告白しよう／「御顔こそ、わたしの救い」と。わたしの神よ。

次の主日礼拝の御言葉です。わたしたちはうなだれることがあります。声さえ出なくて、魂が呻くことしか出来ないことがあります。しかし、その中でも見つめるべき方がおられます。いや本当は、この方の他に見つめることが出来る方、呼び求めるべき方はいないのです。「御顔こそ、わたしの救い」。ここに必ず、救いがあります。そう信じて良いのです。「わたしの神よ」。

26日(土)

ルカによる福音書 21 章 16～19 節

あなたがたは親、兄弟、親族、友人にまで裏切られる。中には殺される者もいる。また、わたしの名のために、あなたがたはすべての人に憎まれる。しかし、あなたがたの髪の毛の一本も決してなくなる。忍耐によって、あなたがたは命を勝ち取りなさい。」

明日の主日礼拝の御言葉です。あなたたちは、親しい人に裏切られ、殺されることまであるかも知れない。わたしの名のために、すべての人に憎まれる。そうイエスさまは言われます。しかし、「あなたがたの髪の毛の一本も決してなくなる」と。殺されるけれど、髪の毛一本もなくなる。これは矛盾でしょうか。いいえ、そうではありません。イエスさまの名のもとにあるならば、わたしたちは神さまのものであり、神さまの御手から髪の毛一本も取りこぼされることはないのです。

聖句：日本聖書協会『聖書 新共同訳』